

茅ヶ崎セントラルクリニック 森川 元気

- 功 績 キレイな透析液を提供すべく水質改善に取り組んできた功績
- 推 薦 者 小田島 英明
- 推 薦 理 由 臨床工学の知識と経験を活かし、克服すべき課題に取り組んだ行動力に対して、理事長賞に推薦します。

内 容

透析液中にエンドトキシンが混入し、透析膜を通過して血液に進入する事は、炎症反応を誘発し、熱発・貧血・アミロイドーシス・動脈硬化等合併症の原因となります。そのため、透析に使用される水は細菌数とエンドトキシン濃度は限りなく低値な高純度の清浄液を使用する必要があります。透析液の水質が規定を満たしているため、水質加算②を取得し、患者さんの体内に作製した透析液が直接入るオンラインHDFと呼ばれる、より質の高い透析治療を提供するため数値の改善の必要性がありました。

そこで森川氏が中心となり、細菌数の数値並びにエンドトキシン濃度の数値向上に向けて透析液供給ラインの洗浄消毒工程の見直しを行いました。まずは毎日の機械洗浄のプログラムの見直しを実行。次にプログラム出来ない部分の消毒洗浄は手作業にて毎週透析治療後に行う必要がありました。スペースや機器仕様など比較したらキリがありませんが、与えられ、限られた条件の中で最大の効果を生み出し、良い透析治療を提供するというプロ意識の下、万全の注意をはらい実施してまいりました。

結果、下記のように数値の改善がみられました。

| 項目 | 細菌数 | EU値 | 時期 |
|----------|----------------|--------------|-----------|
| 基準値 | 100.00CFU/ml未満 | 0.050EU/mL未満 | |
| 平成26年 9月 | 5.96CFU/mL | 検出不能 | プログラム見直し前 |
| 平成26年10月 | 4.00CFU/mL | 検出不能 | プログラム見直し後 |
| 平成26年12月 | 0.20CFU/mL | 検出不能 | 毎週消毒洗浄実施後 |
| 平成27年 3月 | 0.04CFU/mL | 検出不能 | 現在 |

患者さんへの合併症予防にもつながり、なおかつ水質加算2の安定した請求にもつながっております。

平成26年度実績25,276件

水質加算1の場合80円×25,276件=2,022,080円

水質加算2の場合200円×25,276件=5,055,200円